

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 65号

2013/09/9 発行
株式会社 立花商店
生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：週初めに下げたが、その後一気に高騰し1700£を超えた。

①週最高：12月LDN市場£1,704 / 12月NY市場\$2,567 (9/5) 先週比 **LDN+£49/NY+\$69**
②週最低：12月LDN市場£1,613 / 12月NY市場\$2,418 (9/3) 先週比 **LDN-£15/NY-\$18**
週内価格差額 (①-②)：LDN市場£91 (傾向↑) / NY市場\$149 (傾向↑)
週内建玉推移：LDN市場 229,291枚(8/30終了時)⇒ 225,316枚 (8/29終了時) **-3,975枚**
NY市場 186,298枚(8/30終了時)⇒ 192,718枚 (8/29終了時) **-6,420枚**

【9月2日(月)】ロンドン、3日続落=NYは休場

ロンドン市場の12月きりは3営業日続落し、15ポンド(0.9%)安の1619ポンドで引けた。8月20日には11カ月ぶり高値の1673ポンドを付けていた。主要産地コートジボワールの降雨が収穫高見通しを改善させた。ニューヨーク市場はレーバーデー(労働者の日)のため休場。

【9月3日(火)】ニューヨーク、続落=ロンドンは4日続落

ニューヨーク市場の12月きりは続落し、18ドル(0.7%)安の**2418ドル**で終了した。ロンドン市場の12月きりは4営業日続落し、6ポンド(0.4%)安の**1613ポンド**で引けた。8月20日に付けた11カ月ぶり高値の1673ポンドを依然下回っている。ポンドが対ドルで軟調なことが相場を圧迫している。同限月は3週間以上にわたり、約60ポンドの狭いレンジ内での取引となっている。

【9月4日(水)】ロンドン、ニューヨークとも急反発

ココア先物は急反発。ニューヨーク市場の12月きりは、78ドル(3.2%)高の2496ドルで引けた。心理的な支持線の2400ドルに接近したことに加え、ドルが対ポンドで軟化したことにも支援され、テクニカルな買いが加速した。ロンドン市場の12月きりも、41ポンド(2.5%)高の1654ポンドで引けた。

2012～13年度における世界的なカカオ豆の不足が、これまでの予想よりも深刻化するとの見方に、両市場とも支援された。マレックス・スペクトロンの農産物オプションブローカー、エリック・シブリー氏は、不足分の見通しが従来の約5万トンから10～15万トンに拡大するとの見方を示した

【9月5日(木)】大幅続伸＝供給不足観測強まる

大幅続伸した。ロンドン市場の12月きりは50ポンド(3%)高の**1704ポンド**、ニューヨーク市場の12月きりは71ドル(2.8%)高の**2567ドル**で引けた。市場関係者によると、テクニカルな買いが入ったほか、需要回復に伴う供給不足幅拡大観測も上昇につながった。

【9月6日(金)】小反発＝利食い売りに押される。

利益確定の売りに押されて小反落。相場は良好な需要見通しに支えられ、ほぼ1年ぶりの高値まで上昇していた。

ニューヨーク市場の12月きりは3ドル(0.1%)安の2564ドルで取引を終えた。一時2583ドルまで値を上げた。

今週の上昇率は5%超を記録。ビジョン・フィナンシャル・マーケッツのアナリスト、ボイド・クルエル氏は「週末を前に若干の利食い売りが出た。相場は上値抵抗線にはじき返されたものの、2550ドル近辺に支持線ができています」と述べた。

ロンドン市場の12月きりは4ポンド(0.2%)安の1700ポンドで終了。一時1707ポンドを付けた。ディーラーによると、市場の関心は西アフリカの乾燥天候懸念から堅調な需要見通しに移りつつあるという。

2、ガーナ産ライトクロップ 8月22日までに48,554トンの着荷状況(9/6)

ガーナのカカオ豆監督機関であるココア委員会(Cocobod)の発表によると7月初旬からスタートしたガーナ産のライトクロップの集荷が8月22日までで前年対比6.27%増加のペースとなる48,554トンになったことが判明した。

11週間あるライトクロップシーズンの7週目にあたるこの一週間での集荷数量は1,976トンであり、前週の1,434トンを上回った。

世界第二位のカカオ生産国であるガーナは7月～9月のライトクロップシーズンに約15万トン前後の集荷を計画しており、このライトクロップは通常国内のカカオ磨砕業者向けに販売される。

3、ガーナ Cocobod 肥料供給に関する補助金プログラムを今後3～5年で廃止を計画(9/5)

- ・肥料に関する補助金プログラムを3-5年で廃止に。
- ・Cocobodの計画では来シーズンの300,000万袋の肥料の供給を行う。
- ・Move heightens uncertainty over 2013/14 crop outlook

ガーナは、カカオ価格の低迷を背景にしたCocobodのコスト削減施策の一環として、これまで産業の発展に寄与してきた肥料の支給プログラムを今後3-5年かけて終了させる計画であることを発表した。

カカオ産業の統括機関であるCocobodは過去10年間、それ以前は40万トン程であったガーナカカオの

収穫数量を 80 万トン前後にまで成長させる為に農家が必要な肥料の約半分の費用を負担するプログラムを実施してきた。

しかし、カカオの価格はこのプログラムを計画した際のカカオ豆の価格である FOB 価格トン当たり 3,000 米ドルを下回り続けている現状となっており、Cocobod も見直しを余儀なくされている。

『現在、プログラムを実行していく為の資金を獲得していくことが非常に大きな課題となっている。現在のカカオの価格からではこのプログラムを続けていくだけの資金は提供できない』Cocobod のマネージャーは言う。

このプログラムの担当者の職員によれば、現在の収入状況を受けて、前シーズンは 200 万袋の肥料の供給を補助していたが今年は既に 60 万袋の補助に減らしている状況の様だ。

また、同氏によれば、Cocobod はまた補助金で支給した肥料が必ずしもガーナの農家に届いておらず代わりに隣国であるコートジボアールに密輸されて売買されている状況があることにも言及した。

『私達は、徐々に肥料の補助金での支給を徐々に減らしていき、3 年から 5 年の間に完全に停止する計画を組んでおり、その頃には各カカオ農家は其々に肥料の購入を出来るように調整していく』同氏は言う。

最終的には、この決断を行う為には政府が計画を承認する必要がある。しかしながらもう 1 名の別の職員は既に Cocobod は来シーズンの補助金は 30 万袋だけの肥料を確保する予定であるとしている。

『理由は簡単だ。現在のカカオの価格では十分な資金がないからだ』と説明する。

また、このコスト削減施策に関連して、Cocobod 長官である Anthony Fofie 氏は先週のインタビューで、ライトクロップのカカオ豆の割引の廃止と農薬散布のサービスプログラムの段階的廃止計画について実行することを発表している。

4、カメルーンカカオ乾燥オープン EU 基準に即して一新する取り組みを実施中 (9/2)

- ・カメルーンは計画の 1500 オープンに対して、現在の所 144 のオープンを新しくした。
- ・EU は 4 月 1 日から厳しいコンタミネーションの基準を導入した。
- ・トレーダー筋によればカカオニブの品質テストには合格した。

カメルーンは昨年欧州で 2,000 トンのカカオ豆がスモーク臭のコンタミにより受け取りを拒否されてから、厳しい EU の品質基準に即したカカオ豆の出荷を行う為の施策として、古くなったカカオ豆オープンを新しくしていく取り組みを開始している。

Cameroon's Cocoa and Coffee Interprofessional Board (CCIB)の副長官の Omer Gatien Maledy 氏によれば、現在の所、全部で 1500 オープンの新規導入計画の内、南西部に 144 台を新しく導入した。

南西部は年間 20 万トン近くあるカカオの輸出数量の 40%を占める地域であり、非常に雨の多い地域である為、天日乾燥が非常に困難な為特にオープンが必要な地域である。

『これは EU の基準に即した品質を生産数為の取り組みであり、得にカカオの乾燥に関して各農家が良い取り組みを行えるように推進するキャンペーンの一環である』と Omer 氏は言う。

EUはカメルーンカカオの主要な輸出国であるが、昨年12月輸出されたカカオ豆に高い基準の**多環芳香族炭化水素**（たかんほうこうぞくたんかすいそ、英:polycyclic aromatic hydrocarbon、**PAH**）が含まれていることを理由に**2,000**トン分が受け取り拒否された。

この物質は、煙の多い直火やタールマック＝砕石とタールを混ぜた舗装道路材の上でカカオ豆を乾燥させることによりカカオ豆に含まれる物質で、発がん性リスクがあるとされている。

今年の4月1日、ブリュッセルはPAHの含有についてこれまでよりも厳しい基準を導入し、カカオ豆及びその加工製品、チョコレートに含有する**ベンゾ[a]ピレン**は10億個に対して、5個までと定められた。

カメルーンのCCIBは今年度の初頭、昔EUより寄贈されたオープンで既にひび割れている物に対しては、新しいものに変更し、また道路で天日乾燥を行うのではなく、衛生的なブルーシートを供給してその上で乾燥を行うようにしていき方針を打ち出した。

学術的な調査ではPAHの含有リスクはカカオ豆の外皮を取り除くことで大幅に減少させることが出来る

あるEUのカカオトレーダーがカメルーンカカオに含まれるPAHの含有率を調査したところによると、これまでの調査では全て新しいEU基準を下回る結果となっている。

しかしながら、このトレーダーはカメルーンカカオの評判やイメージに対しては未だに疑問があるという。

『業界の人々はこれについては少し懸念を示している。検査自体が非常に特別な物であるし、毎回のロットに対してEU基準以下であるかどうかを検査することになるからだ』とトレーダーは言う。

『業界にはいくつかの企業がかなり沢山のカメルーンカカオ豆を使用しているので、彼等はカメルーンのカカオ豆に対してどんな検査が必要になるのかに注意を払っている』

5、インドネシア、スラウェシ島のカカオ豆輸出数量前年対比 109% (9/2)

インドネシアの主なカカオ豆の産地であるスラウェシ島からの8月度のカカオ豆の輸出数量は前年の4,340トンに対して、2倍以上の9063.55トンとなり、2012年の11月以来では最大の月間輸出数量となった。

8月のカカオ豆輸出は7月のカカオ豆輸出数量から5%上昇した。

インドネシアのカカオ豆生産は世界第3位で2013/2014シーズンには前シーズン対比で11%増加で、大よそ45万トン～50万トンの生産数量を見込んでいる。

Sulawesi 島からのカカオ豆輸出数量 2012/2013:

月	輸出数量 (トン)	前年対比

2013年		
August	9,063.55	+109
July	8,671.88	+2
June	7,773.00	+57
May	5,654.00	-21

April	5,781.25	-27
March	8,662.08	+147
February	7,790.50	-2
January	8,349.38	-6

2012年

December	7,508.11	-38
November	9,417.71	-20
October	5,734.81	-17
September	17,240.14	+133
August	4,340.00	-48
July	8,464.34	-37
June	4,935.48	-68
May	7,114.46	-53
April	7,912.02	+404
March	3,505.66	-69
February	7,917.7	-20
January	8,904.25	-23

関連ニュース)

13～14年度の世界砂糖市場、200万トンの供給超過＝大幅下方修正(9/6)

英砂糖商社ザーニコフは5日、2013～14年度の世界の砂糖市場は200万トンの供給超過となる
とし、従来予想（390万トン）の約半分以下に下方修正した。前年度は950万トンの供給超過だった。
同社は「供給超過は従来予想ほど多くない。需要が以前の予想を大幅に上回っている」と指摘した。
また、「現物市場の強さは、供給サイドが需要を見つけるよりも、需要を満たすことが難しくなっている
ことを示している」と述べた。

ブラジル中南部の砂糖生産量が従来の3600万トンから、3410万トンに引き下げられたことも下
方修正の一因。同年度の世界全体の生産量は1億8180万トンと、前年度（1億8580万トン）か
ら減少する見通し。国際砂糖機関（ISO）は先月、13～14年度の世界の砂糖供給超過は450万
トンになるとの予想を示した

*特徴的なチョコレート毎週ひとつ取り上げて紹介する『今週のチョコレート』を別添にて毎週配信
しております！！こちらは何卒、ご愛読頂きますようお願い申し上げます。

*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp